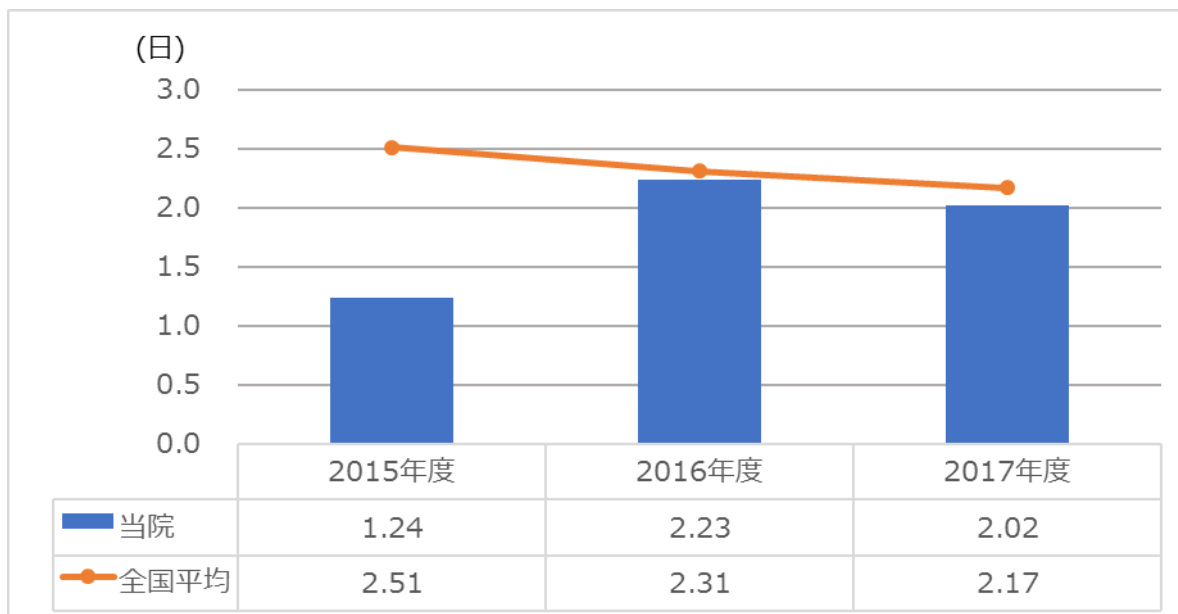


指標 29 周術期予防的抗菌薬投与日数-前立腺がん（平均値）



<定義>

分子	：	抗菌薬の平均投与日数
分母	：	前立腺がんで手術を受けた患者数
期間	：	2015年度～2017年度（1年毎に集計）
対象	：	上記期間の退院患者
値の解釈	：	4日以内が望ましい

<解説>

周術期（手術前～手術後の一連の期間）において、抗菌薬を使用することは、手術部位からの感染を防ぐ上で有効な手段です。一方で、抗菌薬の使い過ぎは、感染症を防ぐ効果の上昇に繋がらず、かえって医療資源の無駄遣いや薬剤耐性菌のリスクを高めるといったマイナス面があります。当院では抗菌薬の適正な使用に努めていきます。

※ 本データは厚生労働省提出用のDPCデータを基に作成されています。また、全国平均の値については、当院が参加している「医療の質と経済性に関する実態調査【京都大学大学院QIP事業】」における「医療の質の指標」の計測結果（事業に参加する全国の病院の平均値）を用いています。

【参考URL】

<http://www.kch.kagoshima.jp/about/qip.html>（当院のQIP参加について）

<http://med-econ.umin.ac.jp/QIP/CI.html>（QIPにおける計測結果）